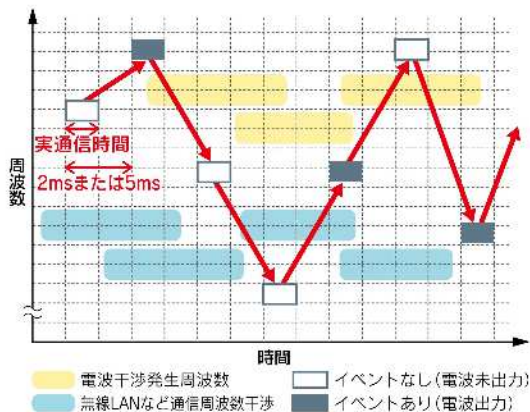


周波数ホッピング / イベント通信方式採用

小型
EXW1モジュラ
EX600-W

周波数ホッピング採用

独自のプロトコルにより、さまざまな障害から安定した無線環境を構築。他の無線機器からの干渉を低減。

イベント通信方式

情報に変化があった時のみ無線通信を行うことで、無線通信の電波出力回数を抑え、他の無線機器への干渉を低減。

周波数
ホッピング周期
2ms*
または
5ms

※EXW1のみ

周波数チャンネル選択

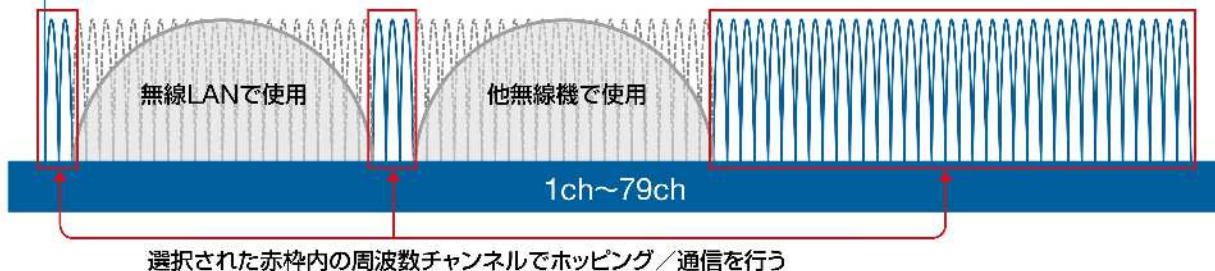
F.C.S.(Frequency Channel Select)対応

小型
EXW1

周波数ホッピングにおいて、ホッピングする周波数チャンネルを選択する機能。無線LANやAGVなどその無線機器で使用している周波数がわかっている場合、それ以外の周波数チャンネルを選択しておくことで、選択された周波数チャンネルだけにホッピングを行うため、その無線機との通信衝突が低減され、通信の安定化につながる。※選択できる周波数チャンネル数は使用国で異なる。

記号	選択可能周波数チャンネル数	適用国
E	最低5個、最大79個のチャンネル	米国/カナダ/韓国/ブラジル/台湾/アルゼンチン/メキシコ以外の電波法認証取得国
N	最低15個、最大79個のチャンネル	米国/カナダ/韓国/ブラジル/台湾/アルゼンチン/メキシコを含む電波法認証取得国

※選択しなければデフォルト設定(79個のチャンネル)で通信を行う。



使用周波数帯域

小型
EXW1モジュラ
EX600-W

2.4GHz ISM周波数帯使用



※ISM (Industry, Science, Medical) 周波数帯：産業、科学技術、医学応用に割り当てられた周波数帯

暗号化による
高いセキュリティ

データの暗号化による外部からの不正アクセスを防止しています。



リモート高速接続

通信開始まで最小250ms

※通信環境による

小型
EXW1モジュラ
EX600-W小型
EXW1モジュラ
EX600-W